

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	臨床工学センター(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 31: 496-497
Issue Date	2021-03-19
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1530
Rights	©2021 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-23T17:21:50Z

研究発表等

〔研究発表〕

村上祐子, 阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 被包型乳頭状癌の2例. 第10回DCIS研究会; 20190126; 長崎.

〔特別講演〕

村上祐子. 乳がんと予防、早期発見の重要性. 福島県 学生がん予防サポーター養成セミナー; 20190930; 会津若松.

臨床工学センター

研究発表等

〔研究発表〕

平野麻衣, 福原真喜, 佐々木紀尚, 福原之博, 出羽 仁. 医療スタッフに帯電した静電気によりエラーが発生した医療機器の一例と対策. 福島県臨床工学技士会平成30年度学術大会; 20190428; 福島.

清野泰司, 樋口 治, 阿部勇飛, 半澤 翔, 石川祐樹, 福原真喜, 佐々木紀尚, 荒 宏樹, 遠藤綾子, 佐藤 梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 三浦 晋, 出羽 仁. 完全皮下植込み型除細動器の症例を経験して. 第29回日本臨床工学会; 20190518; 岩手.

福原之博, 今野秀胤, 福原真喜, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒 宏樹, 佐藤 梓, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 当院におけるECMO離脱に関する考察～111症例を経験して～. 第29回日本臨床工学会; 20190519; 岩手.

荒 宏樹, 齋藤聖羅, 今野秀胤, 佐々木紀尚, 清野泰司, 佐藤 梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. カテコラミン誘発性多形成心室頻拍疑いの患者に対するECMOの検討. 38回日本体外循環技術医学会東北地方会学術大会; 20190706; 宮城.

福原之博, 吉田京香, 今野秀胤, 福原真喜, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒 宏樹, 佐藤 梓, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 植込み型補助人工心臓の機器教育に難渋した一症例. 38回日本体外循環技術医学会東北地方会学術大会; 20190706; 宮城.

樋口 治, 阿部勇飛, 半澤 翔, 石川祐樹, 福原真喜, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒 宏樹, 遠藤綾子, 佐藤 梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 三浦 晋, 出羽 仁. PMTによりペーシングモードの変更を余儀なくされた1例. 第6回北海道・東北臨床工学会; 20191020; 山形.

〔その他〕

佐々木紀尚, 仙石貴文, 半澤 翔, 清野泰司, 荒 宏樹, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 手術室業務の効果を数値にする～当院のダヴィンチ手術について～. 第 29 回日本臨床工学会; 20190519; 岩手.

荒 宏樹. ECMO 管理を検討する. 東北 CE 集中治療研究会 ECMO 管理を考える; 20190825; 宮城.

痛み緩和医療センター

論 文

〔原 著〕

Kato D, Suto T, Obata H, Saito S. Spinal activation of tropomyosin receptor kinase-B recovers the impaired endogenous analgesia in neuropathic pain rats. *Anesthesia and Analgesia*. 201908; 129(2):587-586.

Suto T, Kato D, Obata H, Saito S. Tropomyosin receptor kinase B receptor activation in the locus coeruleus restores impairment of endogenous analgesia at a late stage following nerve injury in rats. *Journal of Pain*. 201905; 20(5):600-609.

〔総説等〕

Hayashida K, Obata H. Strategies to treat chronic pain and strengthen impaired descending noradrenergic inhibitory system. *International Journal of Molecular Sciences*. 201902; 20(4):822.

研究発表等

〔研究発表〕

Hiroki T, Suto T, Ohta J, Saito S, Obata H. The plasticity of spinal γ -aminobutyric acid interneurons reduces analgesic effects of morphine in neuropathic pain. Society for Neuroscience Annual Meeting 2019; 20191020; Chicago, USA.

Ohta J, Suto T, Hiroki T, Obata H. Loss of endogenous analgesia leads to delayed recovery from incisional pain in a rat model of chronic neuropathic pain. Society for Neuroscience Annual Meeting 2019; 20191022; Chicago, USA.

大石理江子, 箱崎貴大, 三部徳恵, 小幡伸樹, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 上肢の閉塞性動脈硬化症に対し、胸鎖乳突筋深部の Fascia リリースで血流増加を測った一例. 日本区域麻酔科学会第 6 回学術集会; 20190419; 高知.

遠藤千麻, 大石理江子, 中野裕子, 星野 一, 三部徳恵, 佐藤 薫, 五十洲剛, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川